

科目名 (科目番号)	臨地実習Ⅲ (臨床栄養) (時間割参照)	教員名	山邊 志都子	学科等	保健栄養	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
				授業形態	実験・実習	オフィスアワー	D305研究室	
授業概要	実際の医療現場を体験し、治療食のあり方と栄養管理の手法を習得する。課題の発見から解決に至るプロセスを通じ、栄養アセスメントに基づく適切な栄養マネジメントに必要な専門知識・技術の統合を図る。また、NST（栄養サポートチーム）やクリニカルパスにおける管理栄養士の役割を認識。栄養スクリーニングから計画立案、評価・判定までの実務を体験することで、個々の病態に応じた個別栄養管理の実際を深く理解する。							
目的・目標	目的：課題発見から解決に至るプロセスを通じ、栄養アセスメントに基づく適切な栄養管理に必要な専門知識・技術の統合を図る。 あわせて、NST(栄養サポートチーム)やクリニカルパス等の多職種連携における管理栄養士の役割を深く認識する。 目標：栄養スクリーニングから計画立案、実施、評価・判定(モニタリング)に至る栄養ケアプロセスの実務を体験し、対象者個々の病態や生活背景に応じた個別栄養管理の実際を体系的に習得する。							
準備学習								
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
	＜教育目標＞							
	臨地実習Ⅲ「臨床栄養学」においては、傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいた適正な栄養管理を行うために必要とされる専門的知識および技術の統合を図る。							
	＜到達目標＞ 1. 栄養アセスメントに基づいた栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的な栄養マネジメントの考え方を理解する。 2. 栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について習得する。 3. 医療・介護制度やチーム医療における管理栄養士の役割について理解する。							
	＜学習内容＞ 1. 実践活動の場での「課題発見(気づき)」「問題解決への取り組み」を行う。 2. 適切なマネジメントを行うために、どのような専門的な知識や技術が必要か理解し、組み合わせる。 臨地実習事前指導で立案設定した、個々の課題を、実習施設での指導を受けながら、実習期間内に実施する。 実習施設での実習計画に従い、実習記録を作成する。							
成績評価の方法・基準	学外施設における実習のため、無遅刻・無欠席が評価の前提となる。 実習評価表に基づき、実習記録、実習報告まとめなどを総合して評価する(対面・オンライン共通)。							
教科書	臨地実習マニュアル[臨床栄養学]第6版 三訂 臨床栄養管理ポケット辞典 糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版			寺本房子, 渡邊早苗, 松崎政三 編著 松崎政三・福井富徳・田中明 編著 日本糖尿病学会編・著		建帛社 建帛社 文光堂		
参考図書	Nブックス 五訂 臨床栄養管理			寺本房子・恩田理恵・調所勝弘編著		建帛社		
教員からのメッセージ	医療提供施設での実習にあたり、十分な睡眠と体調管理を徹底してください。実習効果を最大化するため、事前準備を完全に整え、主体的に学ぶ姿勢を求めます。実習指導者および教員への提出物や報告は、迅速かつ正確に行ってください。本授業は病院勤務経験のある管理栄養士が担当し、実務に即した指導を行います。なお、計画変更の際はオンラインクラスにて修正シラバスを周知します。							